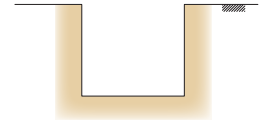


## 施 工 手 順

1

掘削工

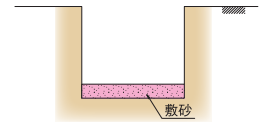
- ①掘削は小型掘削機械により行い、崩壊性の地山の場合は土留工を施します。
- ②掘削機械のバケットのつめ等で掘削の仕上がり面を押し潰した場合はショベルや金ブラシ等で表面を剥ぎ落とし、土砂は排除します。
- ③掘削底面は浸透能力を保持する為、極力足で踏み固めない様に注意します。



2

敷砂工

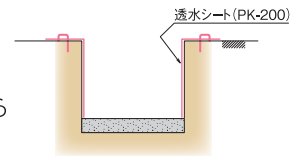
- ①掘削完了後、掘削底面に砂を敷ならしめます。  
(砂の敷ならしは人力作業で行います。)
- ②敷砂は足で軽く締め固める程度とし、タンパ等の機械転圧は行わないで下さい。



3

透水シート  
布設工

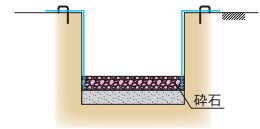
- ①透水シート(PK-200)は土砂の碎石内への流入と地面の陥没を防ぐ為、掘削側面を覆う様に布設します。
- ②透水シート(PK-200)は掘削面よりやや大きめの物を使用し、シートの継ぎ目から土砂が侵入しない様に重ねしろを考慮して下さい。
- ③作業をしやすくする為、透水シート(PK-200)の端部をピン等で固定します。



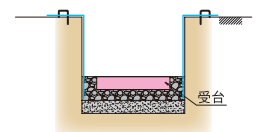
4

碎石充填工(1)

- ①透水シート(PK-200)を引き込まない様に注意しながら碎石を投入して下さい。
- ②碎石の転圧は沈下防止の為にありますが、碎石部分の浸透能力や貯留量に影響する為、転圧は過度な圧力がかからない様なプレート転圧等を行って下さい。



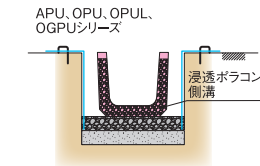
- OSPU、EBU、EUシリーズは碎石層に受台を埋め込みます。受台と碎石表面を同レベルにします。受台のみで側溝本体を支えると製品が損傷を受ける恐れがありますので、側溝本体の直下にも均一に碎石を敷いて下さい。



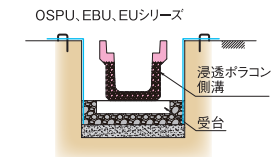
5

本体据付工

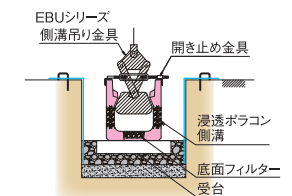
- APU、OPU、OPUL、OGPUシリーズの場合  
①碎石層の上に側溝本体を据え付けます。



- OSPU、EBU、EUシリーズの場合  
①碎石層と受台の上に側溝本体を据え付けます。



- EBUシリーズの場合  
①吊り上げ時の側溝本体のひらきを防止する為に「開き止め」を側溝本体に付けて吊り上げ、碎石層の上に据え付けます。

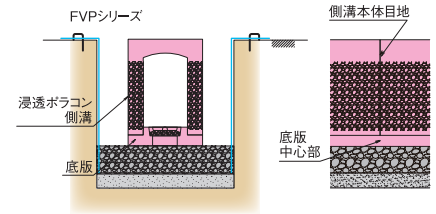


# 浸透ポラコン側溝

**5**  
本体据付工

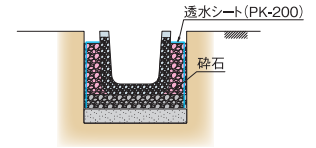
●FVPシリーズの場合

- ① 砕石上に底版を設置して、レベル調整を行います。
- ② 側溝本体の端が底版の中心に位置する様に底版に据え付けます。据付の際、底版と側溝本体の設置部に石などの異物があれば必ず除去してから側溝本体に据え付けて下さい。



**6**  
砕石充填工(2)

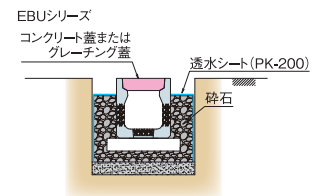
- ① 側溝本体の側面部に砕石を充填します。  
(その際に透水シート(PK-200)がずれないように注意して下さい)
- ② 側面部の砕石上部に透水シート(PK-200)を被せます。



**7**  
インバート  
コンクリート打設工

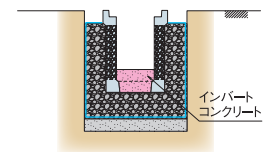
●EBUシリーズの場合

- ① 埋戻し時に専用のコンクリート蓋やグレーチング蓋を仮設置してから埋戻し、転圧を行うなどして側溝本体の「おがみ」を防止して下さい。



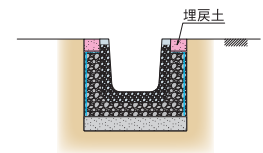
●EBU、FVP、APUシリーズで必要な場合

- ① インバートコンクリートを打設します。  
※インバートコンクリートを打設しない製品は、こちらの手順を除きます。



**8**  
埋戻し工

- ① 埋戻しはプレート転圧等の極度の圧がかかりにくい機械で行います。特にU型側溝は、専用の蓋か木製の角材を仮設置してから転圧を行います。
- ② 側溝本体の天端面は養生を行い、損傷を発生させない様に転圧には十分気をつけます。



**9 施工完了** お気づきの点がございましたら、お気軽に当社までご連絡下さい。(HPのお問合せ先にてお受けしております。)

## 施工歩掛

(10mあたり)

製品名	製品質量(kg/本)	世話役(人)	特殊作業員(人)	普通作業員(人)	トラッククレーン(日)
OPU(L)-150	20(22)	0.5	0.5	1.3	—
OPU(L)-180	29(31)				
OPU(L)-240	46(50)				
OPU(L)-300A	59(63)				
OPU(L)-300B	67(71)				
OPU(L)-300C	77(83)				
OPU(L)-360A	76(81)				
OPU(L)-360B	84(90)	0.4	0.4	1.3	0.4
OPU(L)-450	112(120)				
OPU(L)-600	176(188)				

(注) 1.歩掛は、運搬距離30m程度までの現場内小運搬を含みますが、床掘り、埋戻し、残土処理および砕石層、砂層の材工は含んでおりません。  
2.諸雑費(コンクリートカッター運転経費、目地モルタル、側溝損失分の費用、カッターブレードの損耗費)は労務費及び機械運転経費の合計に17%を乗じた金額を上限として計上して下さい。  
3.透水シートの敷設は普通作業員0.25人/100㎡を加算願います。